

ワンポイントアドバイス

突然意識を失ったとき ～周囲ができる対応と、情報の重要性～

川口市立医療センター

循環器科 はやし だ さとし
林 田 啓



突然意識を失い病院を受診するかたは決して珍しくありません。その多くは高齢者のかたですが、若いかたでも学校などで突然意識を失うことがあります。

人が突然意識を失ったときは、周囲のかたの適切な対応と情報提供が重要です。初期対応としては、安全な場所へ移動させ、生命の維持に必要な呼吸や脈が乱れていないかを確認し、乱れている場合はすぐに救急車を呼んでください。呼吸や脈が乱れておらず、意識が回復してきたときは病院の受診も考慮しつつ、極力冷静に患者さんの様子を観察してください。患者さん自身は前後の記憶がないことがあるため、周囲のかたからの情報が適切な診断につながる場合があります。

一時的に意識を失う症状（以下、一過性意識消失）の中でも、意識を失う時間が1分未満と短く、速やかに回復するものを「失神」といいます。「失神」と「失神以外の一過性意識消失」では原因が異なるため、「失神」であるかどうかを判断することは重要です。失神の多くは子どもが朝礼などで起こすような「反射性失神」や、高齢者が立ち上がる時や降圧剤が原因で起こる「起立性低血圧」など良性のものですが、なかには不整脈や心臓弁膜症、心筋梗塞など命に関わる病気が原因となる「心原性失神」のこともあります。「心原性失神」が疑われるときは心臓超音波検査や心電図などの精密検査を行います。その結果、ペースメーカーや心臓手術が必要となる場合もありますので、突然意識を失った経験のあるかたは医療機関で検査を行うことをお勧めします。